

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業の概要

| | | | | | |
|---|--------------------------------------|-------|-----------|------|-----|
| 事業名 | 地域高規格道路 中津日田道路 一般国道212号 耶馬溪道路 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 大分県 |
| 起終点 | 自：大分県中津市耶馬溪町大字山移 至：大分県中津市耶馬溪町大字大島 | 延長 | 5.0 km | | |
| <p>事業概要</p> <p>中津日田道路は、重要港湾中津港及び東九州自動車道・九州横断自動車道を南北に連結して、広域かつ効率的なネットワークを形成する延長約60 kmの地域高規格道路である。 耶馬溪道路は中津日田道路の一部を形成する延長5 kmの2車線道路である。</p> | | | | | |
| <p>事業の目的、必要性</p> <p>耶馬溪道路は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現国道212号の線形不良区間の回避 ・現国道212号の防災点検要対策箇所の回避 ・高次医療施設へのアクセス改善 ・中津港周辺の地域開発事業の支援等を目的とする。 | | | | | |
| 全体事業費 | 170億円 | 計画交通量 | 12,100台/日 | | |
| <p>事業概要図</p> | | | | | |

関係する地方公共団体等の意見

中津日田間地域高規格道路促進期成会（会長：中津市長）が組織され、自治体をはじめとする地域全体での早期整備に向けての要望・期待が大きい。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている。
地元の団体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境となっている。

事業評価結果

| | | | | | |
|--------|-------------|---|---|---|--------------|
| 費用対便益 | B/C | 1.4 | 総費用：136億円 （事業費：132億円 維持管理費：4.1億円） | 総便益：187億円 （走行時間短縮便益：140億円 走行経費減少便益：22億円 交通事故減少便益：25億円） | 基準年 平成20年 |
| | 感度分析の結果 | 交通量変動 | B/C=1.2 (交通量 -10%) | B/C=1.5 (交通量 10%) | |
| | | 事業費変動 | B/C=1.5 (事業費 -10%) | B/C=1.3 (事業費 10%) | |
| | | 事業期間変動 | B/C=1.5 (事業期間 -20%) | B/C=1.3 (事業期間 20%) | |
| 事業の影響 | 自動車や歩行者への影響 | 評価項目 | 評価 | 根拠 | |
| | | 渋滞対策 | — | 注目すべき影響はない。 | |
| | | 事故対策 | — | 注目すべき影響はない。 | |
| | 歩行空間 | — | 注目すべき影響はない。 | | |
| | 社会全体への影響 | 住民生活 | ◎ | 耶馬溪地域から高次医療施設（中津市民病院）へのアクセス向上が図られ、地域住民の生活環境が向上する。 （耶馬溪地域～中津市内 53分 ⇒ 40分） | |
| | | 地域経済 | ◎ | 中津港周辺の地域開発事業を支援し、地域経済の活性化に寄与する。 （日田市～中津港 83分 ⇒ 50分） | |
| | | 災害 | ◎ | 第1次緊急輸送道路の機能強化が図られる。 現国道212号の防災点検要対策箇所を回避できる。 | |
| 環境 | | — | 注目すべき影響はない。 | | |
| 地域社会 | ◎ | 市町村合併による旧市町村間を結ぶ基幹道路として、新市における地区間連携に寄与する。 （中津市～旧山国町 46分 ⇒ 42分） 交流人口の拡大による観光産業の促進が期待できる。 | | | |
| 事業実施環境 | ◎ | 中津日田間地域高規格道路促進期成会が組織され、事業に対する気運が高まっている。 | | | |

採択の理由

事業主体である大分県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.4と、便益が費用を上回っていることから、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により、線形不良区間や防災点検要対策箇所の回避及び高次医療施設のアクセス改善、地域開発事業の支援が図られ、整備効果は高いと判断できる。
以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。